

アンケート結果報告

2007年4月10日
センター・プロジェクト・チーム (CPT)

CPT では昨年末に横浜教区の各種委員会、諸団体、各地区に対して、藤沢教会に教区のセンターとしての機能を持たせる事に関してアンケートをお願いし、20のグループより回答をいただき、またその他にもいくつかの意見をいただきました。それらについてまとめた結果を報告いたします。

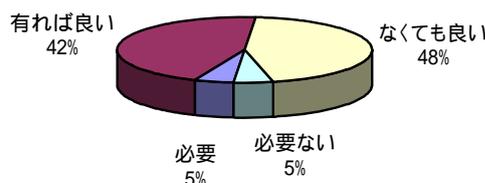
1. 必要性について

教区のカトリックセンターの必要性については、下の表及びグラフのように回答された方々の半数が必要ないしはあれば良いと考えており、他の半数の方々はあまり必要性を感じてはいないようでした。あまり必要とされていないグループは、既存の教会設備などを利用して活動しているところが多いようです。また、活動の性質によっては特にセンターのような特定の場所を必要としないものもあるようでした。また、センターをつくるにしても、設備にかかる費用をはじめ、維持運営にかかる費用も勘案に入れ、無理のない範囲で行うべきとの意見も付されていました。

必要性について

必要	1
有れば良い	9
なくても良い	9
必要ない	1

必要性について



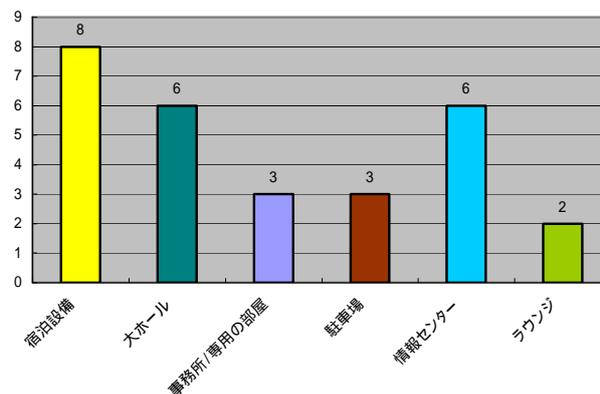
2. 設備について

センターとして必要とされる設備や機能では、宿泊設備との回答が一番多く続いて100名以上収容のホール、情報センターとしての機能などが続きました。宿泊の目的は研修会や黙想会的なものや青少年のキャンプや錬成会のためという目的に二分され、それぞれ要求される内容が異なるものとなっています。また、関連して宿泊施設を教区単独で所有維持するのは負担が重すぎるであろうとの意見も出されています。その他に時間を気にせず自由に使える事務所や交わりの場としてのラウンジ等が必要だとの声もありました。各委員会や活動団体の事務局機能は、特定の建物に固定するよりも担当司祭の居住する場所にした方が現実的であるとの考えが多いようでした。

設備について

宿泊設備	8
大ホール	6
事務所/専用の部屋	3
駐車場	3
情報センター	6
ラウンジ	2

設備について

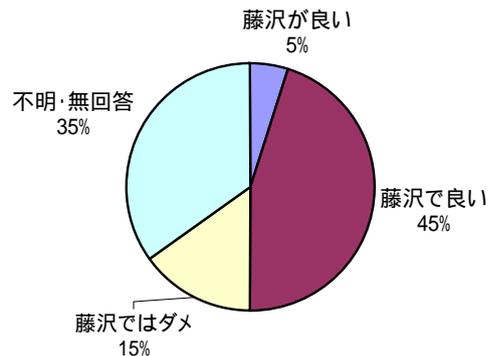


3. 場所について

藤沢にセンター機能を持たせるとの前提での質問ではありましたが、回答者の半数が藤沢でよいと回答しています。これは、1.の必要性があると応えた数と一致していますが、必ずしも必要性があると回答された方のすべてが藤沢でよいと考えているわけではなく、あまり必要性があるとは言えないがつくるとすれば藤沢でよいのではとの回答も含まれていました。逆に藤沢ではダメと回答された方々は3件とも必要性はあるが横浜近辺の方がよいとの考えでした。また、アンケートの回答ではありませんでしたが、場所に関して横浜中心主義を廃するために神奈川県ではない方がよいのではないかとの意見もありました。

場所について

藤沢が良い	1
藤沢で良い	9
藤沢ではダメ	3
不明・無回答	7



4. その他の意見など

上記に加え、センターについて「センターとは何か」を考え、教区には何が必要なのかをはっきりさせた上でおすすめしてほしい。また、一個所集中の施設ではなく、既存の施設なども有効に活用しながら分散的な施設のあり方に関する提案もありました。また運営に関する経済的な心配の指摘があった反面、安価または無料でなければ利用出来ないなどの意見もありました。

CPT では、今回いただいた回答や意見などを参考にしつつ、教区長の意向や今後の教区の姿に対する予測やビジョンなどを勘案し、どのようなセンター機能がふさわしいかを考え、具体的な提案を出来るだけ速やかに作成し皆さんに提示していく予定です。その際には、再度皆さまのご意見、ご提案をうかがいたいと思いますので、よろしくご協力くださいますようお願いいたします。